

部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第1回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年（令和4年）4月28日（木） 午後3時30分から午後5時まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：22人（総数 22人） （出席者）畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、 澁谷（晴）副会長、徳江副会長飯森委員、吉見委員、 藤原委員、小川委員、甘粕委員、阪井委員、岩田委員、 渡辺委員、依藤委員、岡田委員、山口委員、甲斐委員、 桐生委員、福島委員、近藤委員、保川委員 西永委員（オンライン参加） 事務局：6人（出席者 横田センター長、森井主幹、下間、國松、 富樫、吉岡）
アイスブレイク	議題に入る前に、初めての全体会開催にあたり、親睦を深めるために1対1で自己紹介（アイスブレイク）を行った。それぞれ約3分。 ①片瀬の好きなところ（隣の人） ②片瀬のおすすめのお店（対角線の人）
議 題	(1) 令和4年度事業活動計画について 資料1 1 継続課題 今までの部会で行っている継続課題。 内容については先日の準備会で説明したとおり。 2 新規課題 新規課題を3つに区分。 ①～④は既存部会の新規取組。各部会ですでに進んでいるもの ⑤～⑧はそれぞれ関係機関、団体などとの情報共有を行うもの ⑨～⑬は今後の課題として考えられる事務局案 ⑬は、(仮称) チャレンジプロジェクト 公募委員の皆さんが地域課題を整理して解決に向けた取組みを検討していくもの。 今回の部会意向調査票の中の新たな課題。2人の委員からの意見提案。 (2) 所属部会について 部会の希望については、資料2のとおり (3) 令和4年度年間スケジュールについて 会議日程説明 資料3 公民館や各地域団体を含めた年間のスケジュール 資料4

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	(1) 令和４年度事業活動計画について ワーキンググループや部会設置または各団体で取り扱うのかなど活動形態を検討する。あくまでも事務局（案）。委員から課題を出して欲しい。 (2) 所属部会について 各部会の協力員については候補者を事務局に提出。次回の全体会で決定する。部会の委員は名簿のとおり決定。本日から活動を開始する。後日他の部会に参加することも可能。 (3) 令和４年度年間スケジュールについて ・会議日程説明 資料３ 役員会は、全日程 15：30～17：00 全体会は、３回に１回の割合で夜間開催。 全ての会議でオンライン併用。 ・公民館や各地域団体を含めた年間のスケジュール 資料４ 地区集会については下半期に１回とし、まちづくり通信で活動報告やアンケートによる意見聴取を行う。 市全地区の交流会が開催されるが、例えば他地区との個別の交流会や、地域をブロックに分け出張集会を開催するなどの検討を行う。
次回までの 確認事項	部会の活動方法について次回全体会までに決定する。
その他	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：２０２２年（令和４年）５月２７日（金） 午後３時３０分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第2回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年(令和4年)5月27日(金) 午後3時30分から午後5時まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：20人(総数 22人) (出席者) 畠山会長、甘粕副会長、澁谷(晴)副会長、徳江副会長 飯森委員、藤原委員、小川委員、甘粕委員、阪井委員、 岩田委員、渡辺委員、依藤委員、岡田委員、山口委員、 甲斐委員、桐生委員、福島委員、近藤委員、保川委員、 西永委員(オンライン参加) 事務局：5人(出席者 横田センター長、森井主幹、下間、関口、 國松)
報 告	1 全体会の進行について、前回全体会での提案を受け、第2回役員会で検討した結果、会長の負担軽減を図るため副会長が司会進行し、最終的な決定や意見の取りまとめを会長が行うこととなった。 2 前回全体会以降の地域事業についての報告が行われた。 ア 地区社会福祉協議会 片瀬江の島癒しのコンサートの周知。 イ 生活環境協議会 5月27日午前、落書きけしを生環協役員で実施。5月29日は市主催のごみゼロクリーンキャンペーンが行われる。 ウ 片瀬市民スポーツの会 4月29日にソフトボールの大会が開催され、43人が参加。また、5月29日に片瀬中学校グラウンドでグラウンドゴルフの事業が開催される。 なお、6月7日と9日に、片瀬小学校から依頼があり、児童の体力測定の手伝いをする。
議 題	(1) 各部会からの報告、協力員について (2) 部会の活動について 資料1 (3) 検討課題について 資料2 (4) その他 議題終了後、公募委員と団体選出委員の2グループに分けた意見交換
議題に対する検討事項・決定事項・意見等	(1) 各部会からの報告、協力員について ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 部会は未開催だが、新任期委員とコーディネーターとの顔合わせと意見交換を行い、役員を決定した。

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	副会長は公募委員 3 人、監事は藤原委員、会計は澁谷副会長となった。 協力員として、運営委員長経験者の犬山氏、川嶋氏、澁谷（宏）氏と、コーディネーター経験者の石川氏・柳田氏の 5 人をお願いした。 イ ボランティアセンター運営委員会 5 月 2 6 日に第 2 回ボランティアセンター運営委員会が開催され、承認前だが資料に記載の協力員候補者にも会議に出席してもらい、収支決算や事業計画、予算などを検討した。また、今年度から、小学生の学習支援として正式にひだまり教室を開催する。 ウ 青少年健全育成部会 資料に記載のとおり協力員依頼者の報告を行った。 また、6 月 2 日に第 1 回部会を開催する。 エ 郷土文化推進部会 第 1 回部会が 5 月 2 0 日に開催され、片瀬歴史マップの活用について検討した結果、作成部数が限られているため地域回覧周知することとなった。また、協力員は、前年度委員の金子氏、永由氏、笹岡氏、杉下氏をお願いしたい。 次回部会は、6 月 1 0 日に開催する。 「決定事項」 各部会から提案のあった協力員候補は賛成多数により決定。 (2) 部会の活動について 資料 1 第 1 回全体会で慣れるまでの間、流動的に参加することはできないのかとの提案を受け、9 月末までは他の部会にも出席できることとする。 (3) 検討課題について 資料 2 今期の片瀬・江の島まちづくり協議会の活動形態について ア 広報活動は、ワーキンググループとして活動。 イ 郷土魅力継承と自治会の理解促進活動は、活動支援となるので、全体会の中での協議事項。 ウ 片瀬山公園の整備は、市の関係団体・部署と連絡を取りながら、情報収集をする必要があるため勉強会。 エ 公募委員による意見交換は、自由に意見を出し合う勉強会の場として、勉強会のテーマが決まれば事務局と相談。 質問 どのようにすれば SNS などを活用した情報発信ができるのか。 回答 市で定める情報セキュリティポリシーやガイドラインに準じ、アカウントを開設し、発信する必要がある。 意見 勉強会について、新旧の片瀬住民で一緒に話し合った方が良い。公募委員だけの勉強会については疑問に感じる。
--------------------------------------	---

議題に対する検討事項・決定事項・意見等	「決定事項」 広報ワーキングの部員として山口委員が立候補した。他の部会員について希望者がいれば事務局に連絡を依頼した。
次回までの確認事項	1 地域広報事業ワーキングの概要について報告する。 2 公募委員の意見交換、勉強会の在り方について検討する。
その他	1 意見交換会 公募委員と団体選出委員の2グループに分け、意見交換を行った。 [団体選出委員グループ] ア 落書きけし事業に人が集まらないので団体間の横の連携を取ることができればよい。 イ 江の島の空き家が民泊施設として使用されている。空き家は、安全上や防災や防犯上の課題がある。不特定多数利用など、他地区の状況なども含め課題としたい。 ウ 湘南海岸公園駅そばの横断歩道が車両の通行も多く、子どもの横断が危ないので、交対協でしおさいセンター寄りに移設することについて検討されてる。(警察と協議中) エ すばな通りのネズミ問題で、去年の夏にネズミが多く発生し、今年も出るかもしれない。 [公募委員グループ] ア 地域の関心ごとは防災である。自主防とは違う視点で、それぞれの地域で避難等対応が異なる。津波避難について検討してはどうか。 イ SNSの発信など、どのように世代にマッチした広報を行い、情報の共有をするかが課題。 ウ 片瀬で開催されている祭に色々な地域から参加することで、ボランティア活動などに繋がられないか。 エ 片瀬の魅力をたくさんの人にどのようにすれば伝わるのか。 2 その他 わんわんパトロールの復活について質問があり、以前は行っていたが、排泄物の処理など課題となった経過があり、現在は積極的には行っていない。片瀬地区防犯協会では要領で定めているが制約もあることから、ゼッケンを用意して配布したらどうかと考えているとのこと。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）6月16日（木） 午後6時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第3回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年（令和4年）6月16日（木） 午後6時30分から午後8時20まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：19人（総数 22人） （出席者）畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷（晴）副会長、 徳江副会長、飯森委員、藤原委員、小川委員、甘粕委員、 阪井委員、岩田委員、渡辺委員、依藤委員、吉見委員、 岡田委員、山口委員、甲斐委員、福島委員、近藤委員、 保川委員、西永委員 事務局：7人（出席者 横田センター長、森井主幹、下間、関口、 國松、吉岡、富樫）
報 告	（1）ボランティアセンター運営委員会 6月25日開催のわくわく教室に参加する。また、今年度から正式事業として、ひだまり教室を実施する。 （2）青少年健全育成部会 前年度の意見交換会での申し送り事項と、先日、公民館事業として開催された「ぼうさい探検隊」について検討を行った。 （3）郷土文化推進部会 片瀬こま保存会の活動状況について報告。また、わくわく教室で片瀬こまの体験が行われる また、「片瀬歴史マップ」活用について検討され、公民館事業と共同実施について検討。今後は、知見を深めるため、内部研修をしていきたい。 （4）人材・情報バンクセンター運営委員会 前年度からの課題の振り返り、今年度の活動について検討。 また、8月15日から9月30日の期間で地域活動見学＆ボランティア体験会開催する。 （5）生活環境協議会 4月に開催されたクリーン活動の結果を地域回覧する。 また、ごみゼロキャンペーンについて、生環境の環境部長を中心に活動した。 （6）片瀬一市民スポーツの会 今年度のプール開放事業及びカップ祭りは、中止となったことが報告された。また、今後の事業予定は、8月28日に公民館事業のボッチャ大会への協力をする。 なお、地区レクリエーション大会を10月2日に開催する予

	定。 (7) 青少年育成協力会 6月25日にわくわく教室が開催される。 (8) 社会福祉協議会 9月27日から29日の3日間、敬老会を開催する予定。民生委員の現況調査の際に案内を配布している。
議 題	(1) 検討課題について (2) 広報事業ワーキングについて (3) 意見交換について
議題に対する検討事項・決定事項・意見等	(1) 検討課題について（資料2） 第1回全体会で検討し承認された内容を一部修正したいため、修正箇所の説明を行った。 『変更点（案）』 1点目は、地域広報事業について（議題（2）で詳細説明）。 2点目は、前回全体会において西永委員から提案された事業を、人材・情報バンクセンターでのサブ事業とする。 3点目は、岡田委員から提案された片瀬山公園整備に伴う、勉強会の取扱い。 4点目は、公募委員と団体推薦委員の意見交換の統合について。 なお、別紙資料を基に、勉強会の位置づけについて説明。 岡田委員から提案があった片瀬山公園の整備については、有志を募り、市関係各課からの情報を収集しながら進める。 →質疑等なく修正（案）は承認 (2) 広報事業ワーキングについて（資料3） 各部会から1人ずつ希望者を募り、第1回部会を開催したい。 主な活動は、①情報発信の現状把握②情報発信の方法③活動内容やスケジュールなどの検討を行う予定。 山口委員（郷土）、桐生委員（J J B C）、飯森委員（青少年）が確定している。未確定の部会や立候補を希望する委員については、後日、事務局まで報告を依頼。
議題に対する検討事項・決定事項・意見等	(3) 意見交換について（資料4） 前回の全体会で公募委員から出された「防災」、「情報」、「祭り」の3テーマについて、4グループに分かれテーマごとにそれぞれ10分ずつ検討を行い、グループ発表を行った。 『1グループ』 【防災について】 自主防災協議会や各自治町内会の取組みがわかりづらい。 他の地区の動向についてもわからないことから、各地区の現状や活動を知る場があれば良い。必要に応じてまちづくり協議会などで取り上げてほしいのではないか。 【情報について】

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	紙媒体を基本とすることは変わらないが、HPに様々なマップや情報などを入れていくほうが良い。 SNS等を活用した情報発信、防災ラジオの活用などが進めば良いのでは。 【祭りについて】 片瀬山には夏祭りはあるが、神社がないので、気軽に触れ合える場がない。 『2 グループ』 【防災・情報について】 車での避難、観光客への避難対策をどのようにするかが課題。公助の観点から、正確な情報を出すことが必要である。 垂直避難の情報も大切。QRコードなどを活用しての情報発信も有効。 【祭りについて】 3大祭りの正しい情報を伝えるためにも、QRコードを活用することが有効である。 『3 グループ』 【防災について】 障がい者に対しての防災訓練ができていないことが今後の課題。また、マンションに住んでいる人への対応についても必要。防災ラジオをさらに有効活用し、情報発信ができないか。 【情報について】 高齢者への情報発信が取り残さないよう、地域全体で取り組んでいかなければならない。 【祭りについて】 神事のため、神社が中心となって話し合う必要があるが、地域の人がいなければ祭りも成立しない。流れを大事にしつつ、神社に考えてもらいたい。 『4 グループ』 【防災について】 津波発生時の対応について、避難行動に対する周知や避難方法等、各自治町内会で検討することや、他自治町内会から助言を受けるなどしたほうが良い。 また、マンション内には自治町内会が入れないので、マンションの管理組合などが中心となり避難行動を検討してもらいたい。 【情報について】 デジタルと紙の併用が必要。紙は見やすくなるよう工夫する必要がある。どの世代をターゲットにするかで、見せ方を工夫したほうが良い 【祭りについて】 地域の祭りを継承していくことが必要。子どもの頃からお囃子な
--------------------------------------	--

	ど経験することも必要。 また、お祭りがについての情報を発信する必要がある。
次回までの 確認事項	1 修正後の検討課題に基づく各種事業の検討。 2 広報ワーキングの立ち上げ。
その他	特になし
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）7月21日（木） 午後3時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和４年度 第４回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２２年（令和４年）７月２１日（木） 午後３時３０分から午後５時２０まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１８人（総数 ２３人） （出席者）甘粕副会長、澁谷副会長、徳江副会長、飯森委員、 藤原委員、小川委員、甘粕委員、阪井委員、岩田委員、 渡辺委員、吉見委員、岡田委員、山口委員、甲斐委員、 福島委員、近藤委員、保川委員、西永委員 事務局：５人（出席者 森井主幹、下間、國松、吉岡、富樫）
報 告	（１）郷土文化推進部会 ・８月６日（土）「片瀬こま夏大会」開催 ・年間計画について （２）ボランティアセンター運営委員会 澁谷副会長 ひだまり片瀬、夏休みキッズ将棋教室、片瀬にここ広場、 ボラセン８月のお知らせについて説明 （３）人材・情報バンクセンター運営委員会 らぶらぶ片瀬について説明 （４）青少年健全育成部会 ７月４日第２回部会報告 ※事務局へ意見 ９月まで所属していない部会の参加も可としていることから、 他部会に興味を持つためにも、議事録を用意してほしい （５）生活環境協議会 ・海の日に７月１８日 神奈川美化財団主催 「街角美化キャン ペーン」実施について （６）社会福祉協議会 ・地域在住の新１年生への社協からのお祝いの品として、クール タオルを配布。
議 題	（１）検討課題・事業一覧について （２）まちづくり通信第４２号について （３）意見交換について テーマ「地域のつながり」

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	(1) 検討課題・事業一覧について 資料 2 前回承認をいただいたことから、確定版となる。 ア 広報事業ワーキンググループについて 委員決定。委員 4 人と事務局 2 人。速やかに日程調整を行い、活動を開始する。 イ 片瀬山公園整備の勉強会 片瀬山整備の勉強会について、現在 2 名。 参加者希望者の確認。希望者なし。 (2) まちづくり通信第 4 2 号について 資料 3 4 2 号の暫定の形式について説明。地域団体の内容については 8 月の全体会で説明し、9 月 1 0 日号で配布する予定。 令和 4 年新規体制、地域団体や商店会、江の島振興連絡協議会等の紹介。各地域団体担当の担当職員とまち協委員、団体代表と調整を依頼。 質問 掲載する順番は？ 回答 3 6 号は開いた中面と一番後ろのページに地域団体の紹介を乗せるスペースになっている。各団体が提出する掲載内容で事務局が調整する。 質問 ここ 2 年活動できていない。写真が昔のものになる。 回答 過去の写真で構わない。各団体で相談してほしい。スペース的に欄を確保できないので、力を入れている事業を載せてほしい。 (3) 意見交換について 第 3 回の意見交換の内容 資料 4 - 1 これまで 2 回の意見交換を行い、それぞれの問題に共通するテーマは「地域のつながり」である。 本日意見交換のテーマは「地域のつながり」。 今回、意見交換を行い最終とする。次回以降は必要であれば再度意見交換を行う。 昨年“東り町アートフェス”というアートと地域の商店会をつなげるイベントが開催された。このイベントを開催した目的や内容など資料をもとに説明 質問 今後の継続が大切だが、今後継続していくうえで、どのようなモチベーションをもって取り組んでいる？ 回答 去年は自分から企画して、自らが主体として活動したが、今年は商店会が主催として進行中。資金調達 商店会組合から補助金をいただくこととなっている。去年の課題はクリアで
--------------------------------------	--

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	きた。周知、作品の取り扱い、保険等の懸念点は今後改善。商店会を含め前向きに取り組めている、課題は特にはない。 質問 アートフェスとは別に様々なことをやられている。小規模のイベントも実施しているが、同じ視点で実施しているものなのか。 回答 アートフェスは祭典として実施した。自治会で月に1回イベントを開催予定。自治会の文化継承を目標。大きい祭典に多少はつながればよいかなと考えている。 紙での広報が資金的に難しいので、活動は自治会にとどめている。現在は自治会内の活動を重要視している。 意見交換 前回と同様に5人程度に分かれて意見交換し、出た意見を発表した。 グループ① 近所にどのような人が住んでいるか知っていること。挨拶をする。行事に参加して知り合う。 新しい住人が多い。行事の参加等誘いにくい。 情報の提供ができていない。 ここに住んでいてよかったと思ってもらう。 Face to Face の交流が必要 ソーシャルメディアで発信し、情報を取ってもらう つながるきっかけ： 介護のサポート 遊びのサポート（遊び場の提供） グループ② 隣近所との繋がりが少ない ご近所さんとのつきあい、町内会との付き合いで地域のつながりになるのではないかと。町内会の長所・短所を考えながら人に出てきてもらわなければならない。 情報弱者（スマホ、パソコン等見ることができない人）に対し、市民の家、コミュニティセンターで印刷して、情報提供する。 グループ③ 地域、つながり捉え方は人による 商店街、マンション、交流を工夫 イベントがつながるきっかけ（BBQ、もちつき、地区レク） みんなで食事が良いがコロナ禍で難しい → 答えが出ない グループ④ 「地域のつながり」漠然としている。地域の概念。地域そのものをどの様に捉えるか。マンションは、他人との繋がりを求めている人もいます。 東り町アートフェスなど、地域から発信出来たら良い。 受け身で参加できない人をどう吸い上げるか。きっかけをどう与えるか。町内会、子ども会、老人会に頑張ってもらいたい。
--------------------------------------	--

次回までの 確認事項	1 まちづくり通信４２号の内容
その他	特になし
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：２０２２年（令和４年）８月１８日（木） 午後３時３０分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第5回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年（令和4年）8月18日（木） 午後3時30分から午後5時20まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：16人（総数 23人） （出席者）畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 徳江副会長、飯森委員、藤原委員、甘粕委員、阪井委員、 吉見委員、依藤委員、岡田委員、山口委員、福島委員、 近藤委員、保川委員 事務局：7人（出席者 横田センター長、森井主幹、関口、 下間、吉岡、國松、富樫）
勉 強 会	公園課から、当日資料を基に片瀬山公園の計画並びに現時点の整備状況が説明され、片瀬山公園の整備や運用について意見交換を行った。 [質問] 夕方は誰もおらず公園としての機能を果たしていない。また、旧片瀬山プール跡地も活用されていない。簡単なものでもよいので展望台を作るなど、人が集まる空間にはできないのか。 [回答 公園課] 風致公園として整備されているため、他の公園と比べ遊具が設置されていない。トイレは老朽化のため改修した。樹木の保全は市全体の課題と捉えているが、現在、耐用年数が超過し老朽化した遊具を適宜更新している状況。 [意見] 木が道路に出て倒れそうで危険。昔は龍口寺の通路が通れた。しかし現在は塞がれている。災害発生時の避難場所への近道にもなっている。 また、江ノ電の江ノ島駅の中に広域避難場所の表示が以前は出ていたが、現在はない。 [質問] 公園の具体的な整備計画はないのか。計画がないのであれば、片瀬地区として考えていきたい。 [回答 公園課] 具体的な整備計画や遊具の設置計画はない。 [意見] 公園内に照明が4つしかなく、夜は真っ暗。指定緊急避難場所なので、照明を増設したほうが良い。 [回答 公園課] 避難場所の機能強化として照明の増設については、防災安全部とも協議し、できることは行っていきたい。 [質問] 避難するための片瀬山公園となっているのであれば遊具新設などの規制や制限はあるのか。 [回答 公園課] 公園の整備後避難所としての位置づけしているため

	制限はない。 今回の質問、意見などを集約し、危機管理課からの防災の観点から説明などを受ける中で勉強会を進めていくことを確認した。 また、その他として、片瀬山公園の現状把握のため、現地を確認したいとの意見もあったことから、別途日程を設定し、現地を歩いて確認することとなった。
報 告	4 報告（資料１） （１）前回全体会について （２）各部会等からの報告 （３）地域団体からの報告 （４）意見交換について
報告事項・意見等	4 報告（資料１） （１）前回全体会について 第４回全体会及び部会報告について 事務局から、第４回全体会の結果について報告した。 （２）各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 人材・情報バンクセンター事業の地域活動見学＆ボランティア体験会が開催期間中である。 イ 郷土文化推進部会 片瀬こま保存会のイベントなど、引き続き継続して活動する。 ウ 青少年健全育成部会 １１月に防災をテーマに意見交換会を実施する予定であり、講演会は次年度に繰り越すこととなった。 エ ボランティアセンター運営委員会 ひだまり教室を開催している。また、夏休みの将棋教室は、８月上旬はコロナの感染拡大のために中止。下旬に感染対策を行い実施する。 オ 広報事業ワーキングの状況について報告。山口委員に座長をお願いすることとなった。 （３）地域団体からの報告 ア スポーツの会 地区レクリエーション大会が新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、中止となった。 イ 生活環境協議会 ８月に海岸周辺ゴミ拾いキャンペーンを実施したことが報告された。（残りは２２日（月）） ウ 諏訪神社の例大祭について 宮入がないなど規模を一部縮小し開催する。 エ コミュニティスクールの取り組みや子どもを取り巻く現状等について、当日配布資料を基に情報提供した。

	[意見] 将棋など、地域の方と交流できる空き教室があるのか。 [回答] 人口増加、児童数増加、少人数教室や特別支援学級など、教室に空きがない。 [意見] 最近のコロナ対策は過剰である。学校内や学童内でもマスクを外しての会話が制限されている。大人が思う以上に子どもたちの心を押さえつけている。 (4) 意見交換について 事務局から、資料2を基にこれまで5月の全体会から7月の全体会まで3回に渡り開催され、防災、情報、祭りなどをテーマに意見交換を行うことで、「地域のつながり」が共通の課題であることを確認した。今後も、必要に応じて意見交換をしていきたい。
議 題	(1) まちづくり通信第42号について
議題に対する検討事項・決定事項・意見等	(1) まちづくり通信第42号について 事務局から、当日配布資料を基に説明。全戸配布に向け、各地域団体の中で記事の確認を依頼した。
次回までの確認事項	片瀬山公園内の現状について徒歩にて現地確認するための調整
その他	特になし。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）9月15日（木） 午後6時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和４年度 第６回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２２年（令和４年）９月１５日（木） 午後６時３０分から午後８時４０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：２０人（総数 ２７人） （出席者）畠山会長、三觜副会長、澁谷副会長、徳江副会長、 飯森委員、藤原委員、甘粕（勇）委員、阪井委員、 吉見委員、小川委員、岩田委員、渡辺委員、岡田委員 甲斐委員、桐生委員、西永委員、山口委員、福島委員、 近藤委員、保川委員 事務局：７人（出席者 横田センター長、森井主幹、関口、 下間、吉岡、國松、富樫）
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会等からの報告 ・部会員でなくても自由に会議に参加できる期間が９月末までだったが、１２月末まで延長する。 ・各部長から「令和４年度上半期の活動報告と下半期の活動予定」の報告 ①人材・情報バンクセンター運営委員会 ボランティア体験会の実施。ふれあいまつりに展示形式で参加 ②ボランティアセンター運営委員会 ひだまり教室、子ども将棋教室など ひだまり片瀬通信を基に説明。 ③青少年健全育成部会 ぼうさい探検隊実施に向けた意見交換会 片瀬山市民の家無料開放にまちづくり協議会として協力する。 ④郷土文化推進部会 歴史マップを使った公民館共催事業を実施する。 １１月１１日（金）午前中 ⑤広報事業ワーキンググループ SNS の運用基準の作成、ポータルサイトの再起動 紙も大切な媒体。回覧板で見やすいものはどのようなものか、等 ⑥片瀬山勉強会 現地見学は延期

	(3) 地域団体からの報告 ・各団体から「令和4年度上半期の活動報告と下半期の活動予定の報告 ①自治町内会連絡協議会 ②自主防災協議会 ③民生委員児童委員協議会 ④社会福祉協議会 ⑤防犯協会 ⑥交通安全対策協議会 ⑦市民スポーツの会 ⑧生活環境協議会 ⑨青少年支援フォーラム ⑩青少年育成協力会 ⑪老人クラブ連合会（別添資料あり） ⑫子ども会連絡会 ⑬片瀬地区商店会
次回までの 確認事項	地区集会企画の意見交換を行う
その他	特になし。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）10月13日（木） 午後3時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第7回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年(令和4年)10月13日(木) 午後3時30分から午後5時20分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：19人(総数 26人) (出席者) 畠山会長、三觜副会長、徳江副会長、甘粕副会長、 澁谷副会長、甘粕委員、甲斐委員、近藤委員、小川委員、 岩田委員、岡田委員、飯森委員、山口委員、阪井委員、 桐生委員、渡辺委員、藤原委員、吉見委員、保川委員 事務局：7人(出席者 横田センター長、森井主幹、関口、下間、 吉岡、國松、富樫)
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会について 議事録の確認 (2) 各部会等からの報告 ア 青少年健全育成部会 12月1日に開催予定の意見交換会は、「情報交換会」とし 実施する。 イ ボランティアセンター運営委員会 11月に鵠生園の職員を講師に招き、ミニ講座を開催する 予定。12月以降も各種講座を計画。 ウ 人材情報バンクセンター運営委員会 ・登録団体の活動紹介を中心にふれあいまつりで展示する。 ・次年度のボランティア体験会は、次年度に向け下半期に、 コーディネーターを中心に検討する。 ・コーディネーター設置に関する規約などの修正を検討。 エ 郷土文化推進部会 11月11月に開催する事業「かたせ歴史マップめぐり」 の最終確認を行った。 オ 広報ワーキング ・片瀬地区ポータルサイトは全体的に長期間未更新。どのよ うに再起動するか検討する。 ・チラシは、縦を基本に、記事によって横も活用するなど、 役員会で提案できるようブラッシュアップする。 (3) 地域団体からの報告 ア 社会福祉協議会

報 告	滞りなく敬老会が開催できたことに対してお礼。 イ 生活環境協議会 10月19日に市主催市民大会が開催され、表彰・記念講演が行われた。 ウ 片瀬・スポーツの会 ふれあいまつりでニュースポーツの体験を行う。 エ 青少年育成協力会 11月26日に小学生を対象にドッジボール大会を予定。ていることが報告された。
議 題	(1) 令和4年度地区集会について(資料2)
議題での検討事項・意見	(1) 令和4年度地区集会について 今年度地区集会を1回、2月に開催する。地区集会に向け、テーマを決定したい。 内容やテーマについての意見 ・コロナということもあり、グループトークなどは難しい。 ・空き家を有効活用した地域のまちおこしの成功事例の講演 ・歴史文化の継承(龍口園も含め) ・片瀬山公園を含めた地区内の公園のPR・活用と、境川河川沿いを含めた環境整備 ・湘南海岸公園の交通問題 ・江の島島内の自転車駐輪場対策 ・各種ハザードマップを活用した防災について ・各部会の活動の活性化につながるテーマ ・地域の環境美化に関しての活動など ・参加者から提案してもらった内容をテーマとする ・片瀬地区ポータルサイトを中心とした広報 ・広報ワーキンググループの活動について 「片瀬を発信」「ポータルサイトから片瀬を知る」など ・紙の発信、ポータルサイトについて ・WGの2月までの現状を報告すれば良いのでは。 ・ポータルサイトは情報量と内容の手直しが必要 ・地域の人が何を知りたいのか、住民から意見をもらう ・WGの報告はまだ早い ・情報の見分け方が必要 ・情報もバージョンアップする。2月までに出来ることを ・地区集会で聞いた意見をさらに反映させては? ・ポータルサイトの充実を考える ・情報はすでに出ている。ハザードマップ、ゴミなどのこともポータルサイトに載せれば? ・今の世の中情報発信について ・広報WGはよいのでは。 ・情報発信、ポータルサイトなどは、今求められているもののなの

	では。 等
議題での決定事項	(1) 令和4年度地区集会について 広報ワーキングが今年度立ち上がったこともあり、「情報」をテーマに、若い人が参加しやすいような地区集会とする。 次回役員会で検討する。
次回までの 確認事項	地区集会の内容について検討する。
その他	津波避難訓練の実施について周知。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）11月17日（木） 午後3時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2022年(令和4年) 11月17日(木) 午後3時30分から午後5時30分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人(総数 23人) 出席者： 畠山会長、三觜副会長、徳江副会長、甘粕副会長、 澁谷副会長、甘粕(勇)委員、飯森委員、小川委員、 甲斐委員、近藤委員、藤原委員、渡辺委員、岩田委員、 岡田委員、山口委員、保川委員、福島委員 事務局：6人(出席者 横田センター長、森井主幹、関口、下間、 國松、富樫)
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会について 議事録の確認 (2) 各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 ボランティア体験会について次年度は、年度内2回実施する(予定)。ふれあいまつりは、展示を行ったが、以前のようなカフェ形式での実施が効果的。委員会にもぜひ見学に来てほしい。 イ 青少年健全育成部会 情報交換会は、子どもの防災について“ふじさわ防災ナビ”を中心に、情報交換会を行う。 ウ 郷土文化推進部会 11月9日に鎌倉市立山崎小学校の授業で片瀬こまの紹介を行う。11月11日に実施する片瀬公民館との共催事業の最終確認を行った。 エ 広報ワーキング 片瀬地区ポータルサイトの再起動、地区集会、回覧ちらしについての検討。岩田委員がオブザーバーとして参加。 ポータルサイトは、長年、更新されていない状況。地域団体ごとの広報担当者により記事の掲載をしたほうが、団体ごとの特徴が生かせるサイトになると考える。今後、各地域団体を対象に操作学習会を開催するなどの検討予定。 地区集会に向けて、どの様に関わるか検討。 より見やすい回覧について次回の役員会で提案する予定。

報 告	まちづくり協議会が所有するＰＣもあることから、ポータルサイトの操作方法など個別に支援を行うことも可能。 (3) 地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 10月18日に開催された市民大会で、片瀬地区の西浜公園愛護会が団体として表彰を受けた。ふれあいまつりの結果報告。 11月20日開催の1日清掃デーへの積極的な参加依頼。 イ 片瀬地区自主防災協議会 12月3日に開催される第31回片瀬地区総合防災訓練への参加依頼。 ウ 片瀬地区老人クラブ連合会) 小田急市民ギャラリーにおいて、11月20日から27日まで趣味展が開催。 エ 片瀬地区防犯協会 JJB C主催の体験会を通じて1名が、安全・安心ステーションの活動に加入。 オ 片瀬地区社会福祉協議会 12月14日に片瀬山交番の佐武氏を招き、特殊詐欺についての講演会を開催。 カ 片瀬地区子ども会連絡会 東り町アートフェスに子どもたちが制作した作品が展示されている。 (4) 辻堂地区郷土づくり推進会議役員との交流について 辻堂市民センターにて役員との情報交換を行い、防災のを中心として議論した。また今後も継続して交流を行っていく。
議 題	(1) 令和4年度地区集会について(資料2)
議題での検討事項・意見	(1) 令和4年度地区集会について ①役員会での協議を踏まえ企画(案)(資料2)を作成。具体的な内容は、全体会で検討・決定し、スケジュールに基づき進めていきたい。 ②地域住民が知りたい事として、日々の暮らしに関する情報、困ったときに役立つ情報が一番であり、紙媒体での発信も必要だが、片瀬地区ポータルサイトを再起動し、住民に身近な情報発信源となることも大切である。 テーマ「情報」に対しての方向性について意見交換。 主な意見。 ・デジタル推進室に市のデジタル化に向けての取組みを説明してもらいたい、あわせて、広報ふじさわの作成の取組みについても聞いてみたい。

- ・地域住民がいつでも情報を入手でき、電子での申し込みができるようにしたほうが良い。
- ・人によっては申込ができない場合もあるのでできない人への対策も講じる必要がある
- ・「情報」の発信により、地域住民の生活に潤いを持たせるようになることが必要。
- ・地域の魅力発信も必要だが、まず、地域住民が必要と感じている情報を更新していくことが大切。
- ・市内や他市で先進的な取組みを行っている団体を講師として招き、講演を行った後、片瀬地区に落とし込み参加者みんなで考えるのも良い。
- ・まちづくり通信をもっと充実させたほうが良い。また、他の方法での発信も必要。
- ・SNS等が活用できれば情報発信の効果が高まる。まちづくり協議会や地域団体の活動の写真をアップロードするだけでも効果が高い。自治町内会に加入しておらず紙媒体の行き届かない方にも情報が届けるようになれば良い。
- ・自分が必要な情報のみ取得できれば良い。
- ・まちづくり通信だけでなく、他の方法で情報発信をすることも大切。
- ・ゴミ分別アプリなど、すでにデジタル化されている藤沢市のサービスもあり、アナログとデジタルが使い分けられている。「情報」というテーマだと広すぎるので、もっとクローズアップして取り上げるべき。
- ・地域回覧など、デジタルで見られれば良い。自治町内会の広報担当者は、回覧の数量が年々増えていくので苦労している。SNS発信などで済めばよいものはデジタル化していくことも大切。
- ・地区集会に向けてどのようにしていくかを話していくことが必要。
- ・テーマについて行政、片瀬地区の情報どちらを主にしていくか絞らないとまとまらなくなってしまうのでうまくリードしないとまとまらない。
- ・地域住民が、片瀬地区の「情報」に対してどのように思っているかについて、参加者の考えを集約し、紹介することが第1ステップと考えれば、次回以降の地区集会も同じテーマで継続して取り上げ、様々な視点で意見の集約をする形式でもよい。今回は、第1ステップとして講義形式の開催でも良いのではないかな。
- ・地区集会に向けて、ワーキンググループだけの負担にならないよう、活動を継続していくことができるようにする必要がある。
- ・身近な意見を聞くにはグループトークの形式が良い。
- ・地域住民に回覧を見てもらいやすくするよう、見せ方を工夫する必要がある。
- ・地区集会を行った結果の報告などをまちづくり通信で報告するとともに、実際に実現した事例などを取り上げても良い。

議題での決定事項	情報＝回覧。 「回覧」から情報の発信や受取り方法などを考える。 ・市や他地区での取組みなどの講演（市デジタル推進室） ・グループトーク形式をとり意見集約 ・地区集会での意見から課題を整理するなど、次年度の広報ワーキングの活動に繋げていく
次回までの 確認事項	片瀬地区の情報発信の課題などの検討。 地区集会においてデジタル推進室に市や他地区の取組みの講演、全体会への出席を依頼する。
その他	5 その他 民生委員児童委員協議会から選出されている小川委員について、11月末をもってまちづくり協議会委員を退任。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時：2022年（令和4年）12月15日（木） 午後6時30分 から 場所：片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和４年度 第９回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２２年（令和４年）１２月１５日（木） 午後６時３０分から８時３０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１８人（総数 ２４人） 出席者：畠山会長、三觜副会長、徳江副会長、甘粕副会長、 澁谷副会長、甘粕（勇）委員、阪井委員、渡辺委員、 藤原委員、小原委員、甲斐委員、飯森委員、近藤委員、 福島委員、岡田委員、山口委員、保川委員、西永委員 事務局：６人（出席者 横田センター長、森井主幹、関口、下間、 國松、富樫）
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 議事録のとおり。年末に、機関紙「らぶらぶ片瀬」を発行予定。 イ ボランティアセンター運営委員会 小川委員退任により、広報ワーキングは岩田委員に交代。 地域の縁側でのコーヒー提供は、１月から再開予定だったが延期。小学生の学習支援「ひだまり教室」の参加者募集を行っている。 ウ 青少年健全育成部会 １２月１日に開催した情報交換会について。 青少年関係団体、まちづくり協議会委員合計１７人と市危機管理課職員２人、講師の防災士がふじさわ防災ナビを中心に意見交換を行った。意見交換の結果については、後日改めて報告したい。 エ 郷土文化推進部会 １１月１１日に開催した公民館との共催事業後の意見交換を行った。 オ 広報ワーキング １２月９日の部会で、見やすい回覧のフォーマット、片瀬地区ポータルサイトについて検討を行った。 回覧については、めくったときに見やすくするような基本の

報 告

仕様を決め、全体会に提案する予定。

また、ポータルサイトの他地区の状況や運用について情報共有した。片瀬地区は長期間更新されていないことから地域団体がどのように関わるかが重要。ポータルサイトを活気づけるには、地域団体がそれぞれ更新し、団体の個性を出すことが必要である。更新は多少パソコンが使える、トレーニングを行えばできるので、次回の全体会で委員に見ていただきたい。

(3) 地域団体からの報告

ア 生活環境協議会

1日清掃デー、防犯協会・青少年健全育成会との合同パトロールの実施、藤沢市生活環境連絡協議会の視察研修の報告。
片瀬地区では、11月30日に市のリサイクルセンターの見学を行う予定。生環協普及啓発事業として、マイクロプラスチックストーリーに関する講演を実施。

イ 江の島振興連絡協議会

11月7日に1000株の花植えを関係者50人で実施。
11月8日にクリーンキャンペーンを島内の自治町内会関係者80人で実施。11月25日に江の島防災対策協議会が行われ、避難訓練を2023年2月10日に開催することが決定。

ウ 片瀬一市民スポーツの会

11月16日にパークゴルフ事業を中井町で実施。2月18日に卓球大会を片瀬しおさいセンターで開催する予定。

エ 自主防災協議会

12月3日に片瀬地区総合防災訓練を開催した。

オ 交通安全対策協議会

12月12日に交通安全キャンペーン、12月14日に普及啓発活動を行った。

カ 青少年育成協力会

12月2日に防犯協会・生活環境協議会と合同でパトロールを実施。12月22日に片瀬小6年生を対象に花火大会を実施する予定。

キ 社会福祉協議会

配達してくれるお店の一覧を12月5日に全戸配布。

(4) 地区交流会

11月29日に開催された地区交流会についての報告。

各地区の郷土づくり推進会議の活動状況について4グループに分かれて話し合い、発表を行った。六会地区にも人材・情報バンクセンターに似た活動があり、郷土づくり推進会議の事業として立上げ、ある程度活動が安定した時点で独立させ、新たな活動に取り組んでいるとのこと。

議 題	(1) 藤沢市企画制作部デジタル推進室のデジタル化に対する取組 みについて (デジタル推進室佐藤室長) デジタル推進室が事前に用意したスライドを用い、8月に市民を対象としたアンケートの結果や藤沢市で実施しているデジタル化の取組み、辻堂東海岸1丁目自治町内会に取り組んでいるホームページの運営や湘南大庭地区の地区ポータルサイトなどデジタル化の先進事例などを紹介し、意見交換を行った。
議題での検討事項・意見	[意見・質問] ・世の中の流れとして、デジタル化に進んでいるので、デジタル媒体での情報配信は今後必要となる。一方、紙媒体も、回覧などを通じ人と人が接する機会にもなる。 - 地域ホームページ等の運営は誰が行うのか。 →デジタル化を強要するものではない。便利なツールの一つとして地域の中で有効活用ができればよい。地域のデジタル化にあたっては、主体は地域団体となるが、行政も支援していきたい。 ・紹介があった湘南大庭地区のポータルサイトの運営どのように行っているのか。 →ホームページの運営は、住民が中心となり、郷土づくり推進会議のICT部会も加わり行っている。ホームページを作って終わりではなく、今後も継続して積極的に情報発信ができるよう、地域団体皆さんの協力が必要である。 ・高齢者には、回覧版を隣の家に回すことも大変な人もいる。誰一人取り残さない片瀬を目指すのであれば、高齢者の意見が届くような集会としてほしい。 ・今回のテーマとして、誰一人取り残さない片瀬を目指すということがもう一つの大きなテーマである。参加できない人にどのように情報を届けるかも考える必要がある。 ・地区集会では、デジタル化ありきではなく、紙も併用していく方針であることを伝えていくことで、デジタル化が難しい人も不安にならないのではないか。 ・グループトークテーマが広すぎると話がまとまらなくなってしまう。回覧についてなどのテーマにしたほうが良い。 ・グループトークのテーマを各グループに1つずつ設定することも進め方として良いのでは。 →テーマを絞り提示する中で、話が広がらないようにする。参加者数にもよるが、集中してグループトークができるよう、会場レイアウトなどを工夫していく。

	・グループトークでは、紙の回覧の良さや、普段仕事で回覧を見る機会がない人の両方の意見を聞くことができる。また、その結果、紙以外にも、デジタルで回覧を受け取るという選択肢を増やすことができる。 ・グループトークにあたり、デジタル化に伴うメリット、デメリットなど様々な意見が出てくると思う。その意見を具体化することも必要。 ・オンライン参加者でも気軽に意見が言えるようにしたほうが良い。 ・今回の地区集会のテーマは、1度で結論を出さず、いただいた意見を集約し、片瀬地区の中でどのように反映していくか検討するためのきっかけとなるようにする。 ・自分が必要な情報を得るためにどのようなことをしているか。という聞き方もよいのではないか。
次回までの 確認事項	意見交換、実施内容などについて ア チラシについては、1月5日全戸配布。チラシの内容に意見等があれば12月23日まで事務局へ連絡。 イ グループトークのテーマについては、後日、臨時で役員会を開催し検討する
その他	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年1月26日（木）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第10回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年1月26日(木) 午後3時30分から午後5時25分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：18人(総数 24人) 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、徳江副会長、 甘粕(勇)委員、飯森委員、岡田委員、阪井委員、 吉見委員、岩田委員、甲斐委員、桐生委員、藤原委員、 渡辺委員、小原委員、保川委員、近藤委員、山口委員 事務局：6人 横田センター長、森井主幹、関口、下間、國松、富樫
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会について 議事録の確認 (2) 各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営員会 ボランティア体験会を次年度も継続して実施する。また、令和5年4月からの活動に向け、コーディネーターの公募を実施。要綱の改正、2年任期に変更し募集。 イ 青少年健全育成部会 12月1日に実施した子どもの防災についての情報交換会に、関係7団体17人が出席。実施内容の検討及び次年度の活動方針について協議。 次回の部会開催時期は未定。開催される場合は、改めて情報提供する。 ウ 広報ワーキング 引き続き、チラシの改善案、ポータルサイトの再起動についての検討。今後の活動については、地区集会の結果を受け、改めて全体会にて今後の取組みの検討を図る。 なお、ポータルサイトの更新は地域団体をお願いしたい。 エ 郷土文化推進部会 片瀬歴史マップに誤植があり、現在、修正作業中。 片瀬餅つき唄のTVK収録のビデオが見つかった。片瀬こまは、様々な場所で体験会の実施など活発に活動を行っていることから、引き続き支援を行う。新規事業は、検討中。方針が固まり次第報告したい。

報 告	オ ボランティアセンター運営委員会 ボランティアセンター来所者へのコーヒーの提供についてはできるタイミングになったら報告したい。また、Wi-Fi 環境の整備に向け準備を進めており、高齢者向けの教室などの事業を計画している。併せてミニ講座の周知を行った。 (3) 地域団体からの報告 ア 片瀬地区社会福祉協議会 社協とスポーツの会が連携して実施するボッチャの事業について周知。また、片瀬地区の地域福祉と災害後の生活再建に関するアンケート調査について、協力依頼を行った。アンケートの内容は現在検討中。 イ 生活環境協議会 マイクロプラスチックストーリーの事業について報告。詳細は別紙資料のとおり。また、1月30日に市のリサイクルセンターに視察に行くことを報告。 ウ 片瀬一市民スポーツの会 ボッチャ事業について、片瀬地区社会福祉協議会と共同して実施する。今後、スポーツの会としては、ボッチャの普及を検討しているので、自治町内会や各地域団体で希望があれば協力する。
議 題	4 議題 (1) 地区集会について(資料2) ①配布ちらしおよび事前アンケートについて 地区集会に向けた広報周知の状況について。現在、申込者が10人弱となっている。また、事前アンケートを実施しており、アンケートへの協力について依頼。 ②地区集会の流れ 現在編集集中のパワーポイントのスライドの内容について説明。グループワークの流れについて確認を行った。なお、スライドについては、2月9日の役員会までに修正を行い確認する。 ③市デジタル推進室からの説明 当日に向けたパワーポイントのスライド及び各スライドのポイントについて説明。
議題での検討事項・意見	[意見] 文字や数字が小さくて見づらいので、当日に向けて修正をお願いしたい。 [回答] 当日に向けて修正する。 [意見] スライド5で、デジタル化を支持する人の棒グラフが最大60%ではなく100%にしないと誤解を招く。また、

議題での検討事項・意見	デジタルデバイドという言葉の別な標記にしたほうが良い。 [意見] 棒グラフではなく円グラフにしたほうがわかりやすい。 [回答] 指摘の項目について、当日に向けて修正する。 [意見] デジタル化に特化したグループトークではなく、片瀬地区の現状に合ったグループトークにしたほうが良い。 [意見] スマートシティの具体的なイメージは。 [回答] 市役所に行かなくてもスマートフォンなどで手続きが完結するものや、災害発生時の河川の水位などを計測し、避難情報を自動で発信できるようなものをイメージしており、今後さらに検討していく。 ④役割分担について 出席委員で確認をした。また、当日の会場設営は正午から開始する。 ア 受付 桐生委員、甲斐委員 イ 会場案内 小原委員、藤原委員 ウ 司会進行 徳江副会長 エ「情報」や「回覧」の片瀬地区の現状と課題について 澁谷副会長 オ 広報ワーキンググループの活動について 桐生委員 カ 藤沢市や地域の情報発信の状況について デジタル推進室 キ グループワーク（各班の委員の中から司会、書記を選出） 1班 司会 岡田委員、書記 飯森委員 2班 司会 岩田委員、書記 吉見委員 3班 司会 藤原委員、書記 桐生委員 4班 司会 小原委員、書記 保川委員 5班 司会 近藤委員、書記 甘粕委員 また、当日は、渡辺委員、山口委員が準備及び地区集会に欠席。吉見委員、阪井委員は地区集会のみの参加。 グループトークで聞く内容について、答えが簡単なものは、一問一答形式で回答してもらい、自由討論の部分では、片瀬地区としてデジタル化を進めるものではないが、現在の情報発信やデジタル化での発信によるメリット、デメリットなどを聴き取り発表する。
次回までの確認事項	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年2月24日（金）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和４年度 第１０回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）２月２４日（金） 午後３時３０分から午後４時５０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	出席者：２１人 委 員：１４人 畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、徳江副会長、 甘粕（勇）委員、飯森委員、阪井委員、岩田委員、 藤原委員、岡田委員、山口委員、保川委員、近藤委員、 福島委員 事務局：７人 横田センター長、森井主幹、関口、下間、國松、富樫、 吉岡
報 告	１ 片瀬こま保存会から ３月２５日に片瀬漁港で開催する片瀬こま大会の事業周知及び当日の運営協力者の依頼。 ２ 報告 （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）地域団体からの報告 ア 片瀬地区社会福祉協議会 地域福祉に関するアンケートの実施について報告。チラシは全戸配布しており二次元コードで回答できるが、紙での回答も可能なことから、家族などへの協力依頼。 イ 生活環境協議会 マイクロプラスチックストーリーの上映、講演会と視察研修会の結果について議事録にて報告。 ４月１５日開催の片瀬地区生活環境協議会主催の海岸クリーン活動へ、各自治町内会からの参加を依頼。 ウ 片瀬一市民スポーツの会 ①２月１８日に卓球大会を開催。２０人の参加。 ②２月２４日に片瀬地区社会福祉協議会と共催でポッチャ大会を実施。 エ 防犯協会 ①１月２４日にかけつけネットを発動したが、朝のため見守

報 告

りが少なかったことから方法について検討が必要。また、防犯カメラ設置が有効であるとの意見が出た。

② 3月1日に安全安心ステーションで活動するメンバーとの意見交換会を実施予定。

オ 交通安全対策協議会

① 3月1日に役員会を開催。

② 3月10日に今年度最後の推進会議を開催予定。春の交通事故防止運動について協議する。

(3) 地区集会について

参加者は会場16人、オンライン2人の計18人、委員17人、市職員が10人、合計45人。

グループトークの内容や事前、事後アンケートをまとめたので、次年度に向け、どのような課題で検討を行っていくか、広報ワーキングとも共有しながら進めていきたい。

[意見] 地区内にある掲示板をもっと有効活用したほうが良いという意見があった。また、古いチラシ等もあることから、運用に関するマニュアルなどを作成し、適正な運用ができないか。

[意見] 掲示板は回覧、地域のお祭り、公民館事業で長期間になる事業なども掲示されているため、一概に期限を切ることが難しい。実際の運用は自治町内会ごとで決める方が良い。

[意見] 掲示板は月2回の地域回覧に合わせ張り替えている。また、回覧が多い場合は、掲示する担当者が掲示するチラシを選定している。地域回覧を見ている人は多い。

[意見] 掲示板は、自治町内会によっては無いところもあることから、各自治町内会で運用を検討していただく。片瀬地区として積極的に掲示板を活用する方針となった場合は、広報ワーキングなどで検討を行う。

[意見] グループトークについて、予定ではオンライン参加がいたが、結果としていなかった。委員が混乱しないように工夫をしたほうが良い。

[回答] 今回、初めてグループトークにオンライン参加者を加えたが、実際に参加した人は1人だけだった。改善点などを検討し今後の地区集会を行いたい。

[意見] オンライン参加者も交えてグループトークを実施するのであれば、集中して話ができるよう各班、静かなところで行った方が良い。

[回答] オンライン参加者も参加しやすいよう、検討が必要。

(4) その他

① 広報事業ワーキンググループ

2月21日に部会を開催し、地区集会のグループトークやアンケートの結果などを分析した。デジタル反対の意見もあり、

	きちんと伝わっていなかったと感じた。 これまで、検討してきた内容を役員会で説明し協議してく。 また、ポータルサイトは、地域団体からメンバーを募り練習を行う機会を作っていきたい。 ②かけつけネットについて補足説明。 今回の件について青少年支援フォーラムで意見交換を行った。見守りはできる範囲で、参加する人が負担にならないようにする。また、参加方法なども、巡回ではなく、玄関前での見守りとするなど、今後検討していく。
議 題	(1) 令和５年度事業計画について 令和４年度各部会の活動状況と令和５年度の活動について (2) 令和５年度会議日程について (3) まちづくり通信第４３号について
議題での検討 事項・意見	(１) 令和５年度事業計画について ①令和４年度各部会の活動状況と令和５年度の活動について ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 基本的には今年度と同様の活動を行っていく。 ４月からは新たなコーディネーターとなることから、活動に慣れるまで時間がかかるが、登録団体や地域団体の皆さんが困らないよう運営していきたい。 イ ボランティアセンター運営委員会 ４月から月・水・金の午前１０時から午後３時までの開設。 以前同様に食事可とすることから、親子での参加者が増えることを期待している。木曜日のにこにこ広場やスマホ教室、将棋教室は継続。詳細は後日案内。水曜日にコーヒーの提供予定。 Wi-Fi 環境の整備を今年度中に実施予定。 ウ 青少年健全育成部会 ひだまり教室最終日に協力。 １２月１日に子どもの防災に関する意見交換会を実施し、次年度、子どもの防災に関する事業の検討及び準備を進めている。 エ 郷土文化推進部会 片瀬歴史マップを利用して、片瀬地区の魅力の発信について検討し、片瀬地区の歴史的建造物を含めた座学・まち歩き事業を公民館との共催で実施した。次年度は、片瀬地区の明治時代と現代で大きく変遷している地図や写真などを集めながら何か残していければと考えている。 片瀬こまは活動が活発に行われているが、餅つき唄は活動していない状況。引き続き支援を行っていく。 オ 広報ワーキング 課題の洗い出しに時間がかかった。現在、回覧とポータルサイトについて取り組んでいる。次年度も引き続きポータルサ

議題での検討事項・意見	イトの再構築をメインで進める予定。上半期でポータルサイトの再起動に向け地域団体の協力連携体制の構築を目標に取り組んでいく。また、ポータルサイトがうまく再起動すれば、他のツールを活用した情報発信ができればと考えている。 カ 片瀬地区年間事業スケジュールについて 令和5年度スケジュール（案）について説明。 現段階ではあくまでも予定であり最終的には各地域団体の総会などを経て確定となるため、変更となる可能性がある。 今回の地区集会で出た意見を基に、課題等継続して検討していく。新たなテーマがあれば地区集会を開催し、住民の意見を聴取していきたい。まちづくり通信は年2回発行していく予定。詳細については、次月の全体会で議題としていきたい。 (2) 令和5年度会議日程について 別紙資料の説明。役員会及び全体会は、今年度と同様に月1度のペースで開催を予定。また、4月の全体会については、年度当初ということもあり、市長との意見交換が予定されており、日程が確定していないため、改めてお知らせする。 [意見] 今年度は、夜の会議を年4回実施したが、次年度は昼の開催でも良いのではないかな。 [回答] 役員会で検討していきたい。 (3) まちづくり通信第43号について 地区集会の結果報告、協議会の1年間の活動報告及び各部会の報告を掲載予定。今年度実施した青少年健全育成部会の意見交換会や郷土文化推進部会の歴史マップを活用した事業など。 4月5日の地域回覧で全戸配布を行う予定。 [意見] 事業なのか部会が混在しているので整理してほしい。
次回までの確認事項	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年3月16日（金）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和4年度 第12回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年(令和5年)3月16日(木) 午後6時30分から午後8時00分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	出席者：23人 委 員：16人 畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、徳江副会長、 甘粕(勇)委員、飯森委員、阪井委員、藤原委員、吉見委員、 小原委員、岡田委員、山口委員、保川委員、福島委員、 甲斐委員、桐生委員 事務局：7人 横田センター長、森井主幹、関口、下間、國松、富樫、 吉岡
報 告	1 報告 (1) 前回全体会について 議事録の確認 (2) 各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 現在のコーディネーター3人は、3月末をもって任期満了となる。4月から新たなコーディネーター3人を迎え、事業を進めていく。事業については、今年度実施したボランティア体験会などの事業を継続して実施する。 イ ボランティアセンター運営委員会 4月から月・水・金曜日の午前10時から3時までの開設に向け準備している。また、ボランティアセンターにフリーWi-Fiを導入したので、打ち合わせの場などにも活用ができる。 ひだまり教室は、無事終了し、6年生4人が卒業した。 ウ 青少年健全育成部会 今年度の活動報告と、次年度の方向性の確認。次年度は、防災に関する子ども事業を、秋頃に開催できるよう準備する予定。4月以降の部会日程は、決定次第報告する。 エ 郷土文化推進部会 3月27日に年度内最終の部会を開催する予定。次年度の活

報 告	動は、今年度から取り組んでいる片瀬の変遷が分かる地図などの資料を収集・活用し、片瀬の魅力を発信できる事業を行いたい。また、江の島道整備事業は、以前整備した施設等の点検も含め、3月23日に大源太公園を起点に部会員で歩く予定。 (3) 広報ワーキンググループの活動について 2月24日、3月13日の会議開催報告、及び今まで検討してきた見やすい回覧版サンプルの提示。地域団体のチラシは、できるだけサンプルで提示したフォーマットに合わせてもらえるよう協力をお願いする。また、回覧について、市HPでも公開しているので、回覧板にQRコードのシールを張り周知を行うなど活用してもらいたい。 片瀬地区ポータルサイトは、まずは、交通安全対策協議会に協力してもらい、操作・更新の予定。他の地域団体にも積極的に、ワーキングに参加をしてもらいたい。 [意見] 回覧に掲載されているQRコードの位置について、表面又は裏面のバインダーにかからない位置に変更したほうが良い。 [回答] ご意見のとおり見やすい位置にQRコードを配置する。 (4) 地域団体からの報告 ア 片瀬地区社会福祉協議会 地域福祉に関するアンケートの協力について、現在200件程度回答が来ている。3月31日まで引き続き協力依頼。特に、若い世代の回答が少ないことから、片瀬小学校、片瀬中学校に協力をお願いする予定。アンケート結果をしっかりとめ、共有し、役に立てていきたい。 イ 片瀬地区生活環境協議会 4月15日に開催する予定のクリーンキャンペーンへの参加依頼。当日の開会式は、例年と同様、東浜、西浜が午前10時、江の島が午前9時。閉会式は行わない。 ウ 自主防災協議会 3月7日に視察研修会を実施。神奈川県総合防災センターを視察し、事務局を含め12人が参加。内容は、震度体験、暴風雨体験、濃煙体験、消火器操作体験、津波及び火山に関する動画の試聴など。 エ 片瀬一市民スポーツの会 地区レクリエーション大会は片瀬小学校で10月開催に向け調整している。
------------	--

議 題	4.議題 (1) 令和4年度の振り返り（委員から一言） (2) 令和5年度事業計画について (3) 令和5年度会議日程について (4) まちづくり通信第43号について
議題での検討 事項・意見	(1) 令和4年度の振り返り ア 保川委員 ・部会の情報提供だけでなく、提案・課題・問題等について解決に向け検討していく必要がある。 ・地区集会はもう少し参加者が多い方が良かった。回覧等は、見る側が情報を受け、どのように活動に結びつけるかが課題。 イ 福島委員 ・片瀬こまは、子どもからお年寄まで、幅広い世代が男女関係なく楽しんでいるのが良い。 ・片瀬地区と江の島地区には、人材がまだ眠っている。 ウ 小原委員 ・どの部会も、活動が素晴らしい。長年片瀬に住んでいるが、初めて知ることたくさんあった。 エ 藤原委員 ・全体会は2ヶ月に1回の開催とし、その間は、事業報告を都度郵送などでよい。 ・J J B C運営委員会は1年間で特に進歩がなく、力不足と反省している。 ・地区集会について、参加者が少なく開催の意味がなくなならないよう、自治町内会や地域団体などの出席をお願いしてほしい。 オ 甘粕（勇）委員 ・全体会は、回数を重ねるごとに参加者が減ってしまった。 ・地区集会の参加人数が少なくて残念。 ・若い人に積極的に協議会に入ってもらえれば、色々な意見が出ると思う。 ・地域の後継者がいない。地域活動の魅力の発信が必要。 カ 吉見委員 ・青少年健全育成部会の人数が少ない。地区内の青少年に関する諸団体が活発に活動しており、地域力があると感じている。 ・地区集会は人数が少なかった。参加者を増やすための工夫や、若い人に参加してもらうための仕組みづくりが必要。 ・どの団体にも共通しているが、役員離れが進んでいる。いつも同じメンバーとなっている。 キ 飯森委員 ・各団体の活動状況の報告など、大変勉強になっている。 ・交通安全対策協議会の高齢化が著しい。若い人を育てることも必要。 ・青少年健全育成部会は、人数が少ないが継続して子どもたちのために取組んでいきたい。

議題での検討事項・意見	・地区集会は、住民にとっては関心があるようではなかったテーマとなってしまった。広報ワーキングの活動を通じ、ポータルサイトの再起動を頑張りたい。 ・片瀬山地区の活動が熱心だと感じている。 ク 阪井委員 ・片瀬地区に長く住んでいるが、郷土文化推進部会の活動を通じ、歴史など新たな発見がある。 ・デジタル化についていけるよう頑張りたい。 ケ 桐生委員 ・全体会の開催方法は、月1度全員が集まる必要があるのか。各部会から2人ずつ出席するなど、改善したほうが良い。 ・地区集会は参加者が少なく残念だった。誰のための地区集会なのかわからない。テーマ設定をせず、若い人が気軽に集まれる会にしたほうが良いのでは。 コ 山口委員 ・郷土文化推進部会の活動では、初めて見る貴重な資料や話など、知識が繋がっていく感じが面白く、活動を楽しみにしている。 ・過度にデジタルに進んでいくことは危険だと感じており、この意識を保ちながら広報ワーキングの活動をすすめたい。 ・若い人は、自分から進んで活動することは苦手なのではと考えている。まちづくり協議会の活動をアウトプットする機会を増やし、みんなで活動する形式をとったほうが良いのでは。 サ 甲斐委員 ・自治会加入率が高い理由について、津波に対する危機意識などが高く、他地区以上に地域がつながるのではないかと。 また、自治町内会や高齢者はノウハウを伝え、若い人に動いてもらうようにすれば何とかなるのではないかと。 ・まちづくり協議会の会議を通じ得られるものは少ないが、会議を重ね顔見知りになること自体が、意義あるものであると感じる。 シ 岡田委員 ・まちづくり協議会の活動を通じ、顔見知りになり街中であった時にあいさつができるようになった。 ・片瀬地区の歴史などを聞くことができとても面白い。 ・片山公園再整備が少しずつでも進んでいけばと感じている。 ・全体会の中で自分が発言した意見に対して改善するなど、色々意見を聞いていただき感謝している。 ・地区集会をやること自体に意味があるとは感じている。 ・チームF U J I S A W A 2 0 2 0を活用し、若い人に参加してもらうのも一つの方法である。 ス 甘粕副会長 ・全体会について、意見が拡散して集約できない。集約できるような会議を進めていけば良い。 ・郷土文化推進部会の活動は、最初は手探りの状態だったが、昨
--------------------	--

	年度片瀬歴史マップを作製し、今年度マップを活用した公民館とのまち歩き事業に繋げることができたのが良かった。 ・地区集会は参加者が少ない。別な形式で開催するなど、人を集めることが必要である。 セ 徳江副会長 ・全体会では、もっと委員が意見を言えるようになれば良い。 ・地区集会は人数が少なく寂しい。 ・片瀬地区だけではないが、若い世代の人が独立して他地区や市外に出てしまう。子どもの頃から、子ども会に加入して活動したり、地域のお祭りに積極的に参加するなど、将来的に片瀬に戻ってきた時に、スムーズに地域に入ることができるようにすることが必要。 ソ 澁谷副会長 ・片瀬地区は災害について地域の人が考えていかなければならない地区である。地区集会で取り上げたから解決するわけではないが、地域の様々な関係団体等で組織されているまちづくり協議会で継続的にについて考えていかなければならない。 タ 畠山会長 ・月1回の役員会、全体会の開催頻度は良いと思う。 ・江の島・片瀬地区は山あり川あり海あり、恵まれた環境にあり、歴史文化の宝庫である。未来永劫受け継がなければならない。 ・地区集会は、いつも参加者が少なかったが、会議を重ねるごとに良いテーマだったと感じた。 ・これからのまちづくりは、委員皆さんの個性と得意な面を生かした取り組みが必要となる。 (2) 令和5年度事業計画について 事務局から、資料を基に説明。スケジュール(案)は、4月の全体会で確定版を提示したい。 まちづくり通信は、第43号を、4月5日に全戸配布する予定。次年度は、2回の発行を予定している。 地区集会は、タイムリーなテーマがあれば、年度内2回開催予定であることを説明。 市の予算要求が必要な事業等は、市の予算要求のスケジュールに基づき進める。 (3) 令和5年度会議日程について 役員会、全体会ともに月1回開催。また、全体会の夜間開催については、次期公募委員が現役で務めている方なども会議に参加しやすいよう、設定していることを説明。 (4) まちづくり通信第43号について 事務局から説明。配布資料の内容で印刷をしていることを説明。
--	--

次回までの 確認事項	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年4月20日（木）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール